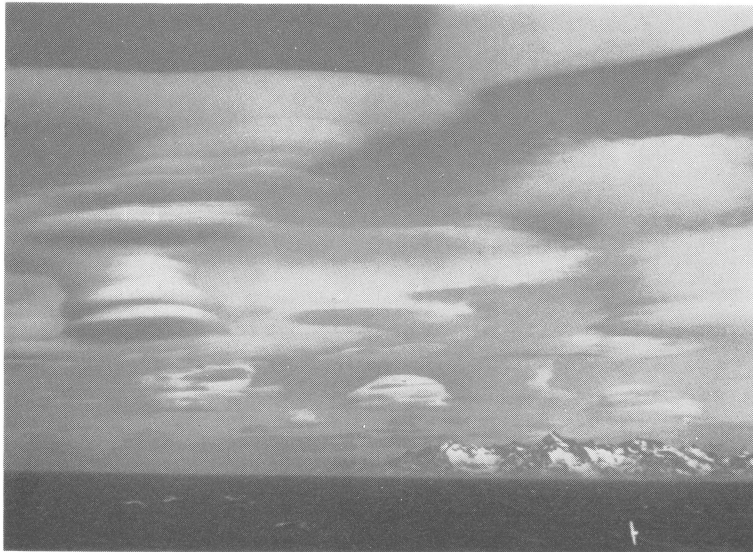


南ジョージアの雲



ここにかかげる2枚の雲の写真は、大洋漁業の広洋丸乗組の永田春生・山本正邦両氏が、南ジョージア島（南緯 54°、西経 37° 付近、チリーの南端ホーン岬の 2000km ほど東方にある長さ約 200km の細長い島）付近で撮影したものである。撮影日時は、上のものが 1964年10月15日17時30分ごろ、下が同月23日10時すぎである。

いずれもレンズ雲の性質をもったもので、それが上下に重なって美事なかたちになっている。広洋丸の観測と天気図（オーストラリアで作成した International Antarctic Analysis Center Synoptic Charts）によると、これらの時刻には、地面付近では風力 6 程度の北西風、上空はやや強い西風であつたらしく、山岳の風下側にできた地形性のものとも考えられる。

（写真は永田・山本両氏より東京管区気象台仁科台長に提供された。説明文は、気象庁測候課篠原による）。